

第3次桐生市地域福祉計画
第3次桐生市地域福祉活動計画
(令和2年度～令和6年度)

進捗状況評価

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標1
安心・安全の地域づくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
								評価	評価	評価	評価	評価	
福祉サービスなどの整備・充実	①	住民ニーズに合わせた基盤整備	フードバンク桐生への食料品提供件数 単位:件	R2	160	194	評価	A	A	A	B	D	
				R3	170	199							
				R4	180	235							
				R5	190	196							
				R6	200	181							
	②	サービスの質の確保	自立相談支援プラン作成件数中、一般就労開始数及び就労収入増加数 単位:%	R2	23	46	評価	B	C	C	C	B	A
				R3	26	21							
				R4	28	21							
				R5	30	32							
				R6	32	52							
適切な福祉情報の提供	①	情報提供の充実	福祉サービス等の周知	R2			評価	C	C	C	C	C	
				R3									
				R4									
				R5									
				R6									
	②	計画の周知	地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知	R2			評価	C	C	C	C	C	C
				R3									
				R4									
				R5									
				R6									
活動拠点としての施設活用	①	集いの場づくりへの支援	子ども食堂の実施箇所数 単位:か所	R2	4	1	評価	D	C	B	B	C	
				R3	4	1							
				R4	5	3							
				R5	5	4							
				R6	6	4							
	②	活動情報の提供	高齢者憩の施設の周知	R2	5	4	評価	D	C	D	D	D	D
				R3	6	4							
				R4	6	2							
				R5	7	1							
				R6	7	0							
①	集いの場づくりへの支援	子どもの学習支援の実施箇所数 単位:か所	R2	5	4	評価	D	C	D	D	D	D	
			R3	6	4								
			R4	6	2								
			R5	7	1								
			R6	7	0								
②	活動情報の提供	高齢者憩の施設の周知	R2			評価	C	C	B	B	B	B	
			R3										
			R4										
			R5										
			R6										

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標1
安心・安全の地域づくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
健康の推進 介護予防	①	介護予防の普及啓発	介護予防教室実施回数 単位:回	R2	113	82	評価 総評 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、警戒度をふまえた教室実施となったため、中断・中止となるコースがあった。外出自粛下によるフレイル予防の普及啓発に努めた。(健康長寿課)	D	B	B	B	C	
				R3	113	83		新型コロナウイルス感染警戒レベルをふまえた教室実施となったが、延期・中止などなく実施できたため、実施回数が増加。(健康長寿課)	新型コロナウイルス感染警戒レベルをふまえた教室実施となったが、延期・中止などなく実施できたため、実施回数が増加。(健康長寿課)	受託事業者が増加したことや、延期・中止がなく実施できたことから実施回数は目標値に達した。(健康長寿課)	地域包括支援センター委託数が減少したことによる教室実施回数の減少(健康長寿課)		
				R4	113	108							
				R5	113	113							
				R6	113	109							
災害時などの支援協力体制	①	災害時避難行動要支援者名簿の活用	個別プラン作成 災害時避難行動要支援者名簿登録希望者数 単位:件	R2			評価 総評 対象者1,193人に対して希望者数210人、割合にして17.6%の希望率となった。新型コロナウイルスの影響によって、未回答者への訪問が行えなかったことが要因として考えられる。(福祉課)	C	B	B	B	B	
				R3				個別避難計画について、16区では個別避難計画作成にかかる訪問調査を実施することができた。訪問調査の結果、支援者がいることや自力避難が可能であることが判明した。(福祉課)	個別避難計画について、10区にて個別避難計画作成にかかる訪問調査を実施することが判明した。(福祉課)	個別避難計画について、10区及び12区にて個別避難計画作成にかかる訪問調査を実施することができた。訪問調査の結果、支援者がいることや自力避難が可能であることが判明した。(福祉課)	個別避難計画について、既に作成した10区の個別避難計画の更新に伴う訪問を実施することができた。支援が必要ということで、施設検討をすることができた。(福祉課)		
				R4									
				R5									
				R6									
				R2	300	210						対象者1,486人に対して希望者555人、割合にして37%の希望率となった。令和3年度は民生委員による未回答者への訪問調査を実施できたことが要因として考えられる。(福祉課)	対象者1,414人に対して希望者585人、割合にして約41.4%の希望率となった。令和4年度は前年度と引き続き民生委員による未回答者への訪問調査を実施した。(福祉課)
		R3	300	555									
		R4	300	585									
		R5	300	319									
		R6	300	250									
		②	連携・災害時の体制づくり	社会福祉法人等との体制 福祉課、社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員での区ごとの避難行動要支援者名簿情報共有 単位:回	R2			評価 総評 社会福祉協議会、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、令和3年度から地域包括支援センターにも提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)	C	C	C	C	C
					R3				自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。また、地域住民(自主防災組織や自治会)が自主的に開設し運営する地域避難施設登録制度を創設し、多様化する避難施設のニーズ(指定避難所までは遠いので少し近いところに避難したい・身近な避難所で気心の知れたもの同士が避難生活を送ることができれば精神的にも肉体的にも負担が少ない等)に対応した。(防災・危機管理課)	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。また、地域住民(自主防災組織や自治会)が自主的に開設し運営する地域避難施設登録制度を創設し、多様化する避難施設のニーズ(指定避難所までは遠いので少し近いところに避難したい・身近な避難所で気心の知れたもの同士が避難生活を送ることができれば精神的にも肉体的にも負担が少ない等)に対応した。(防災・危機管理課)	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。また、地域住民(自主防災組織や自治会)が自主的に開設し運営する地域避難施設登録制度を創設し、多様化する避難施設のニーズ(指定避難所までは遠いので少し近いところに避難したい・身近な避難所で気心の知れたもの同士が避難生活を送ることができれば精神的にも肉体的にも負担が少ない等)に対応した。(防災・危機管理課)	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。また、地域住民(自主防災組織や自治会)が自主的に開設し運営する地域避難施設登録制度を創設し、多様化する避難施設のニーズ(指定避難所までは遠いので少し近いところに避難したい・身近な避難所で気心の知れたもの同士が避難生活を送ることができれば精神的にも肉体的にも負担が少ない等)に対応した。(防災・危機管理課)	
	R4												
	R5												
	R6												
	R2						15法人との協定に基づき、避難行動要支援者が有事の際、状況に応じて利用できる福祉避難所として63施設を確保している。(健康長寿課)						15法人との協定に基づき、避難行動要支援者が有事の際、状況に応じて利用できる福祉避難所として63施設を確保している。(健康長寿課)
	R3												
	R4												
	R5												
	R6												
	R2				社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)	社会福祉協議会、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、令和3年度から地域包括支援センターにも提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)	社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)	社会福祉協議会、地域包括支援センター、地区担当民生委員へ避難行動要支援者名簿の提供を行い、避難行動要支援者の情報共有を図った。(福祉課)					
	R3												
	R4												
	R5												
R6													

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業（おま取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 2
支え合いの仕組みづくり

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
								評価	評価	評価	評価	評価							
地域全体によるネットワーク化の推進	②	体制整備	ネットワークの強化	R2			評価	B	B	B	B	B							
				R3									総評	子ども家庭総合支援拠点を中心に関係機関とのネットワークが強化された。(子育て相談課)	子ども家庭支援拠点を中心に関係機関と連携し、ケース対応等必要に応じて情報交換等行いネットワークを強化することができた。(子育て相談課)	子ども家庭総合支援拠点を中心に関係機関と連携し、ケース対応等必要に応じて情報交換等行いネットワークを強化することができた。(子育て相談課)	子ども家庭センターを中心に関係機関と連携し、ケース対応等必要に応じて情報交換等行いネットワークを強化することができた。(子育て相談課)	子ども家庭センターを中心に関係機関と連携し、ケース対応等必要に応じて情報交換等行いネットワークを強化することができた。(子育て相談課)	
				R4															
				R5															
				R6															
			単位: 件			総評	R2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した会議もあったが、書面開催等実施し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	R3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した会議もあったが、書面開催等実施し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	自立支援協議会定例会を始め、各専門部会を設置し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	自立支援協議会定例会を始め、各専門部会を設置し、事例研究のほか、地域課題の抽出や解決に向けての協議検討を行った。(福祉課)	桐生市地域自立支援協議会の各専門部会にて、事例研究のほか、地域課題の抽出や解決に向けての協議検討を行った。(福祉課)								
			R2									総評	R2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した会議もあったが、書面開催等実施し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	R3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した会議もあったが、書面開催等実施し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	自立支援協議会定例会を始め、各専門部会を設置し、地域課題の抽出や解決に向けての協議を行った。(福祉課)	自立支援協議会定例会を始め、各専門部会を設置し、事例研究のほか、地域課題の抽出や解決に向けての協議検討を行った。(福祉課)	桐生市地域自立支援協議会の各専門部会にて、事例研究のほか、地域課題の抽出や解決に向けての協議検討を行った。(福祉課)		
			R3																
			R4																
			R5																
単位: 件																			
ネットワークによる支援が必要な人の把握とその支援体制の整備	①	支援体制の構築	地域包括支援センター相談件数	R2	14000	22434	評価	A	A	A	A	A							
				R3	20000	25251							総評	地域包括支援センターに寄せられる相談について、多職種・多機関・多分野横断的な相談支援を行える連携を心掛けた。(健康長寿課)	地域包括支援センターに寄せられる相談について、多職種・多機関・多分野横断的な相談支援を行える連携を心掛けた。(健康長寿課)	地域包括支援センターに寄せられる相談について、高齢者だけでなく全世代の相談を受け付け、必要な機関と連携して支援を行った。(健康長寿課)	地域包括支援センターに寄せられる相談について、高齢者だけでなく全世代の相談を受け付け、必要な機関と連携して支援を行った。(健康長寿課)	地域包括支援センターに寄せられる相談について、高齢者だけでなく全世代の相談を受け付け、必要な機関と連携して支援を行った。(健康長寿課)	
				R4	20000	26894													
				R5	20000	23969													
				R6	20000	25351													
			単位: 件			総評	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を令和5年度から開始する準備を整えた。市及び社会福祉協議会で一体となり包括的に相談対応する。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を開始した。市及び社会福祉協議会が一体となり包括的に相談対応するため、支援会議を月1回開催した。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業が令和5年度より開始した。市および社会福祉協議会が一体となり包括的に相談対応するため、支援会議を年14回開催した。(福祉課)								
			R2									総評	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)	断らない相談窓口の設置に向け、庁内で組織する各課コーディネーター及び社会福祉協議会にて制度を推進した。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を令和5年度から開始する準備を整えた。市及び社会福祉協議会で一体となり包括的に相談対応する。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業を開始した。市及び社会福祉協議会が一体となり包括的に相談対応するため、支援会議を月1回開催した。(福祉課)	重層的支援体制整備事業の移行準備事業が令和5年度より開始した。市および社会福祉協議会が一体となり包括的に相談対応するため、支援会議を年14回開催した。(福祉課)		
			R3																
			R4																
			R5																
		単位: 件			総評	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	重層的支援を進める中で、障害者基幹型相談室の役割は大きく、相談支援専門員が障害者からの相談はもとより、関係機関との連携支援を行い、総合的な相談支援に努めた。(福祉課)	障害者基幹型相談室の設置により、障害者の方の福祉サービス、生活や家庭のことなど総合的な相談、関係機関との連携支援を行い、課題解決に向け相談支援の実施を行った(福祉課)									
		R2	2000	2220							総評	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	障害者基幹型相談室を福祉課内に設置し、相談支援専門員が障害者の困りごと等の相談を受けている。多機関とも連携し、総合的な相談支援が行えるよう努めた。(福祉課)	重層的支援を進める中で、障害者基幹型相談室の役割は大きく、相談支援専門員が障害者からの相談はもとより、関係機関との連携支援を行い、総合的な相談支援に努めた。(福祉課)	障害者基幹型相談室の設置により、障害者の方の福祉サービス、生活や家庭のことなど総合的な相談、関係機関との連携支援を行い、課題解決に向け相談支援の実施を行った(福祉課)			
		R3	2000	2376															
		R4	2000	2896															
		R5	2000	3690															
		単位: 件	2000	4316															
		② 必要な情報の提供	地域ケア会議の開催件数	R2	50	64	評価	A	A	A	A	A	A						
				R3	60	75								総評	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、情報交換の場を設けた。(健康長寿課)	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、情報交換の場を設け、それぞれのニーズに対し、関係機関と協働・連携を図った。(健康長寿課)	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、関係機関と協働・連携を図った。(健康長寿課)	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、関係機関と協働・連携を図った。(健康長寿課)	処遇困難ケース検討型、自立支援型、地域課題検討型それぞれの地域ケア会議を積み重ね、関係機関と協働・連携を図った。(健康長寿課)
				R4	60	77													
				R5	60	79													
R6	60			74															
単位: 件				総評	基幹型相談室にて障害者の困りごと等の相談を受け、必要に応じて各関係機関と連携を取ることができた。(福祉課)	基幹型相談室にて障害者の困りごと等の相談を受け、必要に応じて各関係機関と連携を取ることができた。(福祉課)	基幹型相談室にて、市民や関係機関への情報提供を行うとともに、社会福祉協議会や地域包括支援センター等関係機関と連携し包括的な支援に努めた。(福祉課)	基幹型相談室が担当する個別ケースの増加に伴い、個別支援会議の開催件数・関係機関との連絡調整件数も増加し、情報提供及び包括的支援を行った。(福祉課)	基幹型相談室が担当する個別ケースの増加に伴い、個別支援会議の開催件数・関係機関との連絡調整件数も増加し、情報提供及び包括的支援を行った。(福祉課)										
R2	1000		1001							総評	基幹型相談室にて障害者の困りごと等の相談を受け、必要に応じて各関係機関と連携を取ることができた。(福祉課)	基幹型相談室にて、市民や関係機関への情報提供を行うとともに、社会福祉協議会や地域包括支援センター等関係機関と連携し包括的な支援に努めた。(福祉課)	基幹型相談室が担当する個別ケースの増加に伴い、個別支援会議の開催件数・関係機関との連絡調整件数も増加し、情報提供及び包括的支援を行った。(福祉課)	基幹型相談室が担当する個別ケースの増加に伴い、個別支援会議の開催件数・関係機関との連絡調整件数も増加し、情報提供及び包括的支援を行った。(福祉課)					
R3	1000		1067																
R4	1000		1399																
R5	1000		2003																
単位: 件	1000	2344																	

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業(おもな取組)の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標3
地域を支える
人づくり・活動の促進

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3-1 地 た 域 め 福 祉 協 働 進 の	①	協働の場づくり	関係相談機関との協働	R2			評価	B	B	B	B	B
				R3			総評	福祉関係の相談機関及び社会福祉協議会との連携を図った。(福祉課)	福祉関係の相談機関及び社会福祉協議会との連携を図った。(福祉課)	福祉関係の相談機関及び社会福祉協議会との連携を図った。(福祉課)	福祉関係の相談機関及び社会福祉協議会との連携を図った。(福祉課)	福祉関係の相談機関及び社会福祉協議会との連携を図った。(福祉課)
				R4								
				R5								
				R6								
単位:				R6								
3-2 市 民 活 動 の 推 進	①	活動の支援	市民活動推進センター「ゆい」にて支援した市民活動等の事業数	R2	102	46	評価	B	C	C	C	C
				R3	108	66	総評	新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが、密の回避など工夫をしながら事業を推進できた。(地域づくり課)	新型コロナウイルスに左右されたが、ウィズコロナを意識しながら支援を行うことができた。(地域づくり課)	新型コロナウイルスに左右されたが、ウィズコロナを意識しながら支援を行うことができた。(地域づくり課)	目標値には達しなかったが、昨年度とほぼ横ばいで支援を行うことができた。(地域づくり課)	目標値には達しなかったが、昨年度とほぼ横ばいで支援を行うことができた。(地域づくり課)
				R4	114	93						
				R5	120	89						
				R6	120	85						
	単位:事業				R6	120	85					
	②	情報提供	「ゆいねっと」の情報発信数	R2	121	36	評価	B	B	B	C	C
				R3	133	22	総評	新型コロナウイルスの影響により、情報発信数の目標値に達しなかったものの、SNSの活用など新たな取組みを開始した。(地域づくり課)	情報発信数は減少したが、令和4年度から、情報発信方法をLINEへ移行するための環境整備を行った。(地域づくり課)	情報発信方法をLINEへ移行したことや、前年と比較イベント等が増えたことにより、情報発信数が増加した。(地域づくり課)	目標値には達しなかったが、昨年度とほぼ横ばいで情報発信できた。昨年度と比較し、ボランティア募集が増加した。(地域づくり課)	目標値には達しなかったが、昨年度とほぼ横ばいで情報発信できた。(地域づくり課)
				R4	146	88						
				R5	160	83						
R6				160	79							
単位:回				R6	160	79						
3-3 福 祉 教 育 の 推 進	①	学校教育との連携	小・中学校で福祉教育に取り組む。	R2	27	27	評価	A	B	C	B	B
				R3	27	27	総評	小・中学校で各教科等を通じて福祉教育に取り組んでいる。総合的な学習の時間に福祉に関する題材を設定して学習することができた。(学校教育課)	小・中学校で各教科等を通じて福祉教育に取り組んでいる。総合的な学習の時間に福祉に関する題材を設定したり、認知症サポートや介護体験を設定して学習することができた。(学校教育課)	コロナ禍で縮小したものの各学校で各教科等を通じて福祉教育に取り組んだ。総合的な学習の時間の福祉に関する題材においては直接福祉施設を訪問する等の関わりは難しかったが、代わりにポッチャ体験を実施する学校もあった。(学校教育課)	小・中学校で各教科等を通じて福祉教育に取り組んでいる。総合的な学習の時間に福祉に関する題材を設定したり、認知症サポートや介護体験を設定して学習することができた。(学校教育課)	小・中学校で各教科等を通じて福祉教育に取り組んでいる。総合的な学習の時間に福祉に関する題材を設定したり、認知症サポートや介護体験を設定して学習することができた。(学校教育課)
				R4	26	26						
				R5	26	26						
				R6	26	26						
	単位:校				R6	26	26					
	②	体験学習機会の提供	生き生き市役所出前講座の地域福祉計画講座開催数	R2	5	0	評価	C	B	C	C	C
				R3	5	0	総評	地域福祉計画について「生き生き市役所出前講座」登録準備を進めた。(福祉課)	地域福祉計画について「生き生き市役所出前講座」に登録した。(福祉課)	地域福祉計画について「生き生き市役所出前講座」に登録しているが実績はゼロであった。(福祉課)	地域福祉計画について「生き生き市役所出前講座」に登録しているが実績はゼロであった。(福祉課)	地域福祉計画について「生き生き市役所出前講座」に登録しているが実績はゼロであった。(福祉課)
				R4	5	0						
				R5	5	0						
R6				5	0							
単位:回				R6	5	0						
		生き生き市役所出前講座の福祉教育関連講座開催数	R2	50	16	評価	D	C	B	B	D	
			R3	50	22	総評	コロナ禍により開催数が大きく減少(生涯学習課)	前年度に引き続きコロナ禍により開催数は減少したままであった。(生涯学習課)	コロナ禍でも講座が開催できるようオンラインでの対応について調査を行い、メニュー表に表示した。また、コロナ禍による影響はあったものの、開催数は大きく回復した。(生涯学習課)	前年度に比べ、若干数ではあるが開催数が増加した。(生涯学習課)	前年と比べ、出前講座全体として開催数が減少しており、福祉教育関連においても開催数が減少した。(生涯学習課)	
			R4	55	42							
			R5	55	46							
			R6	55	39							
単位:回				R6	55	39						

第3次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

基本目標 3
地域を支える
人づくり・活動の促進

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標①	年度	目標値	実績値	桐生市	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
福祉教育の推進	3 - 3	② 体験学習機会の提供	認知症サポーター養成数累計	R2	17000	16658	評価	D	C	C	B	B	
				R3	17700	17486	総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、出前講座の依頼は例年より減少し、養成数は激減したが、オンライン研修の導入や十分な感染対策のもと、年1回の市民向け養成講座などに取り組んだ。(健康長寿課)	認知症サポーター養成数は前年度養成数275人に比べ、約550人増の828人となったが、コロナ禍による影響は継続している。年1回の市民向け養成講座はオンライン研修を取り入れた。(健康長寿課)	認知症サポーター養成数は706人の増加となったが、コロナ禍による影響は継続している。小学校からの依頼は前年度より増加。年1回の市民向け養成講座はオンライン研修を取り入れた。(健康長寿課)	認知症サポーター養成数は1,136人の増加となった。地域のサロンや学校でもコロナの影響が少なくなり、実施が増えた。(健康長寿課)	認知症サポーター養成数は1,165人の増加となった。職域を対象とする講座を実施した。(健康長寿課)	
				R4	18400	18192							
				R5	19100	19661							
			R6	19800	20289								
			単位:人	R6	19800	20289							
			生き生き市役所出前講座開催数	R2	1	4	評価	B	B	B	B	B	B
				R3	1	1	総評	出前講座として高校生に対し沐浴実習・妊婦体験を行い、福祉教育を推進した。(子育て相談課)	妊娠期から子育て期を健全に過ごす身体づくりのため、出前講座として中学生に対し生活習慣や栄養に関する講話を行い、福祉教育を推進した。	出前講座として207人に対し、小学校就学時健診での保護者と中学生に対し生活習慣や栄養に関する講話を各1回、高校生に対して3回沐浴実習・妊婦体験を行った。(子育て相談課)	中学生と小学校就学時健診での保護者に対し、生活習慣や栄養に関する講話を各1回、中学生に対して4回沐浴実習・妊婦体験を行った。(子育て相談課)	中学生と小学校就学時健診での保護者に対し、生活習慣や栄養に関する講話を各1回、中学生に対して2回沐浴実習・妊婦体験を行った。(子育て相談課)	
				R4	1	5							
				R5	1	6							
			R6	1	4								
			単位:回	R6	1	4							
小学校での手話体験教室の開催	R2	17	13	評価	C	C	C	C	C	C			
	R3	17	13	総評	市内小学校(コロナウイルス感染拡大により4校中止)にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)	市内小学校(コロナウイルス感染拡大により4校中止)にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)	市内小学校(コロナウイルス感染拡大により4校中止)にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)	市内小学校にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)	市内小学校にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。(福祉課)				
	R4	17	13										
	R5	17	13										
R6	17	15											
単位:校	R6	17	15										
地域の人材育成	3 - 4	① 担い手の発掘・養成及び情報発信	介護予防サポーター養成人数	R2	20	0	評価	D	B	B	C	C	
				R3	20	15	総評	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、養成研修中止。また、介護予防サポーターを対象としたフォローアップ研修も中止。代替方法として、介護予防サポーター向けに情報発信を行った。(健康長寿課)	十分な感染拡大防止対策をとりながら、介護予防サポーター養成研修を実施。フォローアップ研修については、3年ぶりに実施ができた。(健康長寿課)	十分な感染拡大防止対策をとるため定員を設けながら、介護予防サポーター養成研修を実施。フォローアップ研修についても実施。(健康長寿課)	介護予防サポーター養成研修及びフォローアップ研修を実施。また、ボランティアの対となるサポーターの活動範囲を拡充した。(健康長寿課)	介護予防サポーター養成研修及びフォローアップ研修を実施。また、長寿センターで定期的に体操を実施し、サポーターが活動する場を拡充した。(健康長寿課)	
				R4	30	18							
				R5	30	17							
			R6	30	13								
			単位:人	R6	30	13							
			手話・要約筆記・点訳・朗読など各種奉仕員や精神保健福祉ボランティアの養成人数	R2	73	14	評価	C	C	B	B	B	
				R3	73	91	総評	精神保健福祉ボランティア養成講座をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読・要約筆記講習会はコロナウイルス感染拡大防止のため全講座中止となった。(福祉課)	精神保健福祉講演会をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読・要約筆記講習会はコロナウイルス感染拡大防止のため全講座中止となった。(福祉課)	精神保健福祉ボランティア養成講座をみどり市と共同にて開催した。また、点訳・朗読講習会を開催(手話・要約筆記講習会はコロナウイルス感染拡大防止のため中止)した。(福祉課)	精神保健福祉講演会をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読講習会を開催した。(要約筆記講習会は中止)(福祉課)	精神保健福祉講演会をみどり市と共同にて開催した。手話・点訳・朗読講習会を開催した。(要約筆記講習会は中止)(福祉課)	
				R4	73	25							
				R5	73	83							
R6	73	37											
単位:人	R6	73	37										

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。